

第9款 警 察 費

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 警察管理費	円	円		
2 警察本部費 (P192)	565,316,000 (73,243,577,346)	564,305,163 (73,029,221,000)	警察安全相談員設置事業 (広報応接課)	<p>1 施策の趣旨等 相談に対する知識や経験の豊富な元警察官を警察安全相談員として採用し、府民からの多種多様な相談に迅速・的確に対応することにより、安全で安心なまちづくりを推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 警察本部及び警察署に16人の警察安全相談員を配置して、府民からの各種相談を受理するとともに、相談内容に応じて関係部署に引き継ぐなど、相談案件の早期解決と事件の未然防止を図った。 警察安全相談員の年間相談受理件数 4,594件（令和元年中） (主な内訳) 生活安全関係（家庭・職場・近隣関係、悪質商法、サイバー犯罪関係等） 2,968件 刑事関係（振り込め詐欺、恐喝、盗難、暴力団関係等） 588</p> <p>3 執 行 額 45,034,554円</p>
		決算額の財源 内訳 国庫支出金 953,692 一般財源 563,351,471	少年非行抑止ネットワーク事業 (少年課)	<p>1 施策の趣旨等 警察本部及び警察署にスクールサポーターを配置し、学校、地域ボランティア、保護者、警察等の行政機関がネットワークを構築して連携することにより、少年非行を抑止する。 指標：非行防止教室実施小中学校数 目標：576校（府内全小中学校） 実績：567校（98.4%）</p> <p>2 施策の実施状況 元警察官42人をスクールサポーターとして採用し、警察本部及び各警察署に配置して、学校や地域ボランティア・PTAと協働した非行防止・立ち直り支援活動等を行うことにより、京都の未来を担う子どもたちの規範意識の向上と教育環境の正常化を図った。 学校訪問（高等学校を含む） 12,220回 指導、助言 5,846件 パトロール 29,521回 18,071時間 非行防止教室等開催 2,337</p> <p>3 執 行 額 116,036,494円</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																
	円	円	交番機能強化事業 (地域課)	<p>1 施策の趣旨等 交番相談員を交番に配置し、警察官のパトロールの強化や事件・事故等の対応により交番に警察官が不在の場合でも来訪者に適切な対応ができるようにするほか、地域の防犯アドバイザーとして、子ども・地域安全見守り隊等の自主防犯活動に対する指導連絡や助言を行い、交番の機能強化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 146交番に各1人の交番相談員を配置して、警察官のパトロール時間を確保するとともに、地理案内や遺失・拾得届の受理、交番の出入口付近に立ち、通行人等に対して声かけや道案内等を行う活動、事件又は事故発生時における警察官への連絡を行うなど、交番の円滑な活動に寄与した。また、防犯アドバイザーとして、地域住民の自主的な防犯活動に対する指導連絡及び助言を行った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">交番相談員(146人)の年間取扱件数(令和元年中)</td> <td style="text-align: right;">264,603件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-left: 20px;">(内訳)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">各種相談受理、事件事故通報</td> <td style="text-align: right;">15,802件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">遺失・拾得届の受理</td> <td style="text-align: right;">32,512</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">被害届代書預かり</td> <td style="text-align: right;">248</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言</td> <td style="text-align: right;">6,057</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">電話による独居高齢者等に対する防犯指導等(いたわりテレホン)</td> <td style="text-align: right;">110,826</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">その他来訪者対応(地理案内等)</td> <td style="text-align: right;">99,158</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額 403,234,115円</p>	交番相談員(146人)の年間取扱件数(令和元年中)	264,603件	(内訳)		各種相談受理、事件事故通報	15,802件	遺失・拾得届の受理	32,512	被害届代書預かり	248	各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言	6,057	電話による独居高齢者等に対する防犯指導等(いたわりテレホン)	110,826	その他来訪者対応(地理案内等)	99,158
交番相談員(146人)の年間取扱件数(令和元年中)	264,603件																			
(内訳)																				
各種相談受理、事件事故通報	15,802件																			
遺失・拾得届の受理	32,512																			
被害届代書預かり	248																			
各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言	6,057																			
電話による独居高齢者等に対する防犯指導等(いたわりテレホン)	110,826																			
その他来訪者対応(地理案内等)	99,158																			
3 装 備 費 (P194)	8,000,000 (944,569,000)	7,732,800 (918,955,960) 決算額の財源 内訳 府 債 5,000,000 一般財源 2,732,800	危機管理態勢充実・強化事業 (警備第一課)	<p>1 施策の趣旨等 東日本大震災や豪雨災害の教訓を踏まえ、大規模災害発生時に備えて災害警備活動用資機材を整備することにより、初動態勢の早期確立を始めとする危機管理態勢の充実・強化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 災害現場活動用油圧ショベルの整備 迅速な救出・救助活動を行うため、油圧ショベルの整備を行った。 アタッチメント付きミニショベル 1台 マイクロショベル 2</p> <p>3 執 行 額 7,732,800円</p>																

4 警察施設費 (P194)	11,588,728,000 (12,389,793,000)	11,545,511,622 (12,345,485,828)	警察本部庁舎建設事業 (会計課)	<p>1 施策の趣旨等 災害発生時の拠点施設としての機能を併せ持つ警察本部新庁舎を建設する。</p> <p>2 施策の実施状況 構造・規模 鉄骨造 地上6階、地下2階建 延べ床面積 27,706.62㎡ 完成年月 令和2年3月</p> <p>3 執行額 9,598,731,003円</p>
		決算額の財源 内訳 国庫支出金 2,751,196,000 繰越金 8,684,845 諸収入 136,400 府債 8,629,000,000 一般財源 156,494,377	宇治警察署建設計画事業 (会計課)	<p>1 施策の趣旨等 昭和43年築で、老朽化、狭あい著しい宇治警察署の早期整備のため、建替に向けた建設計画を策定する。</p> <p>2 施策の実施状況 建替に向けた基本計画書の策定及び境界確定を実施した。</p> <p>3 執行額 3,083,920円</p>
			交番・駐在所整備事業 (会計課 地域課)	<p>1 施策の趣旨等 地域の力を活かし、地域防犯力を向上させ、安全で安心なまちづくりを推進するため、交番・駐在所の整備を計画的に行い、その機能の充実・強化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 老朽化交番等の建替整備 大久保交番(宇治警察署)、湯船駐在所(木津警察署) (2) 公共事業(道路拡張)に伴う駐在所の移転建替整備 宇川駐在所(京丹後警察署) (3) 交番の防御能力強化のための施設管理カメラ設置 銀閣寺交番等25箇所</p> <p>3 執行額 92,369,594円</p>
			交番等安全対策強化事業 (会計課 地域課)	<p>1 施策の趣旨等 令和元年6月に発生した大阪府における交番襲撃事件が及ぼした住民生活への多大な影響を踏まえ、交番、駐在所等を中心とした各種ボランティア活動の安全と住民生活の平穏を確保するため、交番、駐在所等に施設管理カメラの緊急整備を実施する。</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		
			府有施設ブロック塀等 緊急安全対策事業 (会計課)	<p>2 施策の実施状況 施設管理カメラが未整備の交番、駐在所等にカメラを新規整備 229箇所</p> <p>3 執 行 額 49,974,945円</p> <p>1 施策の趣旨等 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 施設数 4施設</p> <p>3 執 行 額 36,765,845円</p>
			園児等交通安全緊急対 策事業 (交通企画課 交通規制課)	<p>1 施策の趣旨等 滋賀県大津市で保育園児等が巻き込まれる交通事故が発生した事を受け、府内の園児等を交通事故から守るため、緊急対策を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 園児等の交通安全対策として、保育所等の周辺等において、警察官による現場点検活動や保育所等からの要望に基づき、横断歩道等を整備した。 (1) 道路標識の整備 167件 (2) 道路標示の整備 902 (内、横断歩道 416)</p> <p>3 執 行 額 44,996,541円</p>
			府民協働型インフラ保 全事業 (交通規制課)	<p>1 施策の趣旨等 インフラの長寿命化やきめ細やかな地域づくりに生かすため、身近な安心・安全につながる小規模な工事及びインフラの劣化等に関する府民の気付きを募集し、府民協働によるインフラ保全を推進する。</p>

				<p>2 施策の実施状況</p> <p>ア 交通管制システムの整備 交通管制情報線改修等 1本</p> <p>イ 交通信号機の新設 半感应式信号機新設 2基 プログラム多段式信号機新設 3 押ボタン式信号機新設 4</p> <p>ウ 交通信号機の改良整備 歩行者用・車両用灯器増設 63灯 歩行者用・車両用灯器更新 10 視覚障害者用付加装置 5基 高齢者等感应化 1 信号機改修 6</p> <p>エ 道路標識の整備 路側式標識 11本</p> <p>オ 道路標示の整備 横断歩道の設置塗替 226本 実線標示の設置塗替 13.44km 実線標示（高輝度）の設置塗替 0.10 図示標示の設置塗替 544個 自転車横断帯の設置塗替 27本</p> <p>3 執行額 182,453,160円</p>
		交通安全施設整備事業 (交通規制課)	<p>1 施策の趣旨等 交通事故の抑止と交通の円滑化による交通渋滞や交通公害の減少を図るため、交通安全施設の計画的な整備を行い、安全な交通環境の実現を図る。</p> <p>指標：交通事故発生件数 目標：6,500件以下 実績：5,183件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 補助事業</p> <p>ア 交通管制システムの整備 交通管制センター整備 一式 集中制御機 40基 情報収集装置 2式 情報収集提供装置 18基</p>	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		
				交通情報板 2基
			イ 交通信号機の新設	
			プログラム多段式信号機新設	5基
			歩行者用・車両用灯器増設	53灯
			ウ 交通信号機の改良整備	
			信号機プログラム多段系統化	5基
			信号機プログラム多段化	30
			押ボタン化	10
			歩車分離化	1
			信号機多現示化	2
			視覚障害者用付加装置	10
			高齢者等感応化	1
			歩行者用・車両用灯器LED化	92灯
			信号機移設等	13式
			配線地中化	5
			エ 道路標識の整備	
			路側式標識（高輝度）	460本
			オ 道路標示の整備	
			横断歩道の塗替	14.59km
			実線標示の塗替	13.10
			(2) 単 独 事 業	
			ア 交通管制システムの整備	
			交通管制センター整備	一式
			交通管制情報線改修等	11本
			イ 交通信号機の新設	
			半感応式信号機新設	2基
			プログラム多段式信号機新設	5
			歩行者用・車両用灯器増設	57灯
			ウ 交通信号機の改良整備	
			信号機改修	9基
			信号機電源付加装置	61
			信号機移設等	17
			エ 道路標識の整備	
			路側式標識	1,632本
			可変式路側標識	1
			大型固定反射式標識板	2
			標識の建植手入れ	一式

				オ 道路標示の整備 横断歩道の塗替 586本 実線標示の塗替 5.27km 図示標示の塗替 1,324本 自転車横断帯の設置塗替 73 道路標示の消除 1.90km カ 交通信号機等の維持管理 一式 3 執行額 1,537,136,614円
2 警察活動費 1 警察活動費 (P194)	213,037,000 (2,086,322,400)	208,062,967 (2,065,034,347) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 35,331,753 諸収入 3,039,874 一般財源 169,691,340	犯罪被害者等支援活動 推進事業 (警務課)	1 施策の趣旨等 犯罪被害者等の権利利益の保護を図るため、犯罪被害者等基本法、第3次犯罪被害者等基本計画に基づき各種施策を推進する。 2 施策の実施状況 (1) 関係機関・団体と連携するとともに社会全体で犯罪被害者等をサポートする気運を醸成した。 京都府犯罪被害者支援連絡協議会の運営 (2) 被害者支援の確実な実施のために相談受理体制の充実と効果的な広報啓発活動を行った。 ア 性犯罪相談ダイヤル「ハートさん」等の各種相談窓口の運用 イ 被害者相談窓口広報用のウェットティッシュや警察における被害者支援の広報用リーフレットを活用した広報啓発活動の実施 (主な広報啓発活動) 地域イベント、街頭等における広報啓発活動 中学・高校・大学における性犯罪被害者講話の実施及び広報啓発活動 警察署単位犯罪被害者支援連絡協議会における広報啓発活動 生命のメッセージ展の開催 (3) 身体犯罪被害者・性犯罪被害者等の診断書料等に係る経費を公費負担し、被害者等の経済的負担の軽減を図った。 ア 身体犯罪被害者に対する初診料、診断書料 イ 性犯罪被害者に対する初診料、診断書料等 ウ 一時避難に係る宿泊施設利用料 エ 精神科医師の診察料等 オ 司法解剖後における死体検案書料、遺体修復料 3 執行額 3,988,277円

				<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都府万引き防止対策推進協議会加盟店舗等と連携し「万引き防止キャンペーン」を実施するとともに、各店舗に啓発ポスターや防犯ハンドブック等を配布するなどして、万引きを許さない社会気運を醸成した。</p> <p>ア 万引き防止キャンペーンの実施 (主な取組み) 洛北阪急スクエアにおけるキャンペーン (下鴨警察署) 中学生の職場体験学習と連動したキャンペーン (下京警察署)</p> <p>イ 啓発ポスター等の掲示 京都府万引き防止対策推進協議会加盟店舗等 1,700枚 外国人による被害多発店舗に英語併記の啓発チラシを掲出 (川端警察署)</p> <p>ウ 万引き防止ハンドブックを活用した防犯指導 京都府万引き防止対策推進協議会会員店舗等 2,980部 (主な取組み) MOMOテラス内130店舗の店長等を対象とする防犯研修会 (伏見警察署) 南区内のイオンモール3店舗の店長会議、株式会社アバンティの店長会議での防犯指導 (南警察署) 下京区内の百貨店、家電量販店等の売り場を会場とした防犯教室 (下京警察署)</p> <p>(2) 自転車盗の抑止を目的とした「鍵-1グランプリ2019」の実施により、中高生の規範意識、防犯意識を醸成した。</p> <p>ア 参加状況 学校対抗自転車鍵かけコンテスト参加校 (高等学校対象) 67校 自転車鍵かけイラストコンテスト応募数 (中学生対象) 中学生 305作品 高校生 134 学校対抗自転車鍵かけ動画コンテスト参加校 (高等学校対象) 2校</p> <p>イ 鍵かけイラスト入りポスターの掲示 府内全中学校・高等学校、マクドナルド、パナソニックサイクルテック株式会社等 2,200枚</p> <p>ウ 高校生を対象とした自転車盗被害防止キャンペーンの実施 (主な取組) 龍谷大学付属平安高等学校における高校生と連携したキャンペーン (下京警察署) 京都市立日吉ヶ丘高等学校における高校生と連携したキャンペーン (東山警察署) 京都丹後鉄道宮津駅における高校生と連携したキャンペーン (宮津警察署)</p> <p>エ イラストコンテスト審査と連動した自転車盗被害防止キャンペーンの実施 (主な取組) Bivi二条におけるキャンペーン (中京警察署) イオンモール福知山におけるキャンペーン (福知山警察署)</p> <p>(3) 学生・現役世代による防犯ボランティア活動を促進するため、活動用ベスト等の物的支援や防犯ボランティア保険への加入支援を行った。 (学生防犯ボランティアの主な活動実績)</p>
--	--	--	--	--

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等										
	円	円	子供安全安心地域・環境づくり事業 (生活安全企画課) (少年課) (交通指導課) (交通企画課)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">啓発活動</td> <td style="text-align: right;">48回</td> </tr> <tr> <td>パトロール</td> <td style="text-align: right;">47</td> </tr> <tr> <td>防犯教室</td> <td style="text-align: right;">19</td> </tr> <tr> <td>3 執行額</td> <td style="text-align: right;">4,933,698円</td> </tr> </table> <p>1 施策の趣旨等 子育て世帯が安全安心に過ごせる地域・環境を作るため、子供見守りボランティア活動の再構築や通学路の安全の実現に向けた総合対策を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 通学路等における「こども 110番のいえ・くるま」の整備・拡充 「こども 110番のいえ」等の継続的な実態把握と訪問点検を通じ、活動マニュアルの交付や経年劣化によるプレートの交換、新規設置等を実施した。 こども110番のいえ登録状況等 こども110番のいえ 16,814軒 こども110番のくるま 76団体 4,294台</p> <p>(2) 防犯ボランティアフォーラムの開催 子供安全対策に関する最新の知見を伝達し、子供の見守り活動や防犯教室等の質の向上、自主防犯活動に取り組む防犯ボランティア間の相互交流等を目的に開催し、部外講師による実践的な体験型防犯研修により、子供の安全対策の強化を図った。</p> <p>(3) 可搬式速度違反取締装置による車両速度抑制対策 可搬式速度違反取締装置2基を整備し、通学路・生活道路等での速度違反取締りを実施した。 子供の交通事故発生状況(小学生、歩行中)(令和元年中) 死者数 0人(前年対比△1人) 負傷者数 28人(" △28)</p> <p>(4) SNSやインターネット上の掲示板に対する効果的なサイバーパトロールの実施 SNS上における性被害防止に係る社会機運が高まりを見せる中、サイバーパトロールを効率的かつ効果的に行うため、SNS等ビッグデータ検索システムを導入し、不適切な書き込みに対する広報啓発による被害の未然防止に向けた取組を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">3 執行額</td> <td style="text-align: right;">23,836,930円</td> </tr> </table>	啓発活動	48回	パトロール	47	防犯教室	19	3 執行額	4,933,698円	3 執行額	23,836,930円
啓発活動	48回													
パトロール	47													
防犯教室	19													
3 執行額	4,933,698円													
3 執行額	23,836,930円													

		<p>登下校時安全確保緊急 対策事業 (生活安全企画課) 少年課</p>	<p>1 施策の趣旨等 神奈川県川崎市で発生した児童等殺傷事件を受け、登下校時を中心とした子供の安全確保を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 青色防犯パトロールの拡充及び活動充実強化 自動車を利用した自主防犯パトロール活動に取り組む青色防犯パトロールの拡充と活動内容の充実強化を図るため、活動用資機材の整備を行った。 ア 青色防犯パトロール車登録台数 950台 イ 防犯推進委員等との合同パトロール活動 3,688回 ウ 部外講師等による防犯講習、教習車を利用した運転技能講習等の定期講習会を開催 京都市内(京都市北文化会館) 府北部(舞鶴自動車学校) 府南部(山城田辺自動車学校) (2) 「こども110番のいえ」の拡充・活性化による地域における子供見守り活動の強化 これまでの「こども110番のいえ」プレートに加え、ガラス面に貼付できるプレートを整備するとともに、京都鉄道博物館等において「こども110番のいえ」を周知するイベント等を開催することにより、設置者拡充に向けた働きかけを実施した。</p> <p>3 執行額 3,999,500円</p>
		<p>ストーカー相談支援セ ンター運営事業 (人身安全対策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 ストーカー事案に特化した相談センターを運営する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) ストーカー事案の被害者のみならず、被害者の家族や加害者等の幅広い対象から早期に相談を受理するストーカーに特化した専門の相談窓口を運営することで、重大事件への発展の未然防止を図った。 相談受理件数 521件 内訳 電話相談 444 メール相談 64 面接相談 13 (2) 関係機関と連携し、ストーカー加害者に対するカウンセリングを実施して、被害者に対する執着心や支配意識の除去を図り、被害者の保護対策を行った。 加害者カウンセリングの実施回数 5回(2人)</p> <p>3 執行額 2,735,489円</p>

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円	青少年に対するサイバー犯罪被害防止対策事業 (サイバー犯罪対策課) (少年課)	<p>1 施策の趣旨等 サイバー犯罪から青少年を守るための対策を実施するとともに、複雑、多様化、増加するサイバー犯罪に対する捜査体制の強化を図る。</p> <p>指標：警察職員やネット安心アドバイザー等によるサイバー犯罪被害防止講演の実施回数 実績：2,411回（令和元年中）</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 青少年のネット問題等に専門的知識を有する大学准教授等を「ネット安心アドバイザー」として登録し、府内の高等学校等においてサイバー犯罪被害防止に係る講演を実施し、青少年のネットモラルの醸成や、ネットトラブル対応能力の向上を図った。</p> <p>実施回数 303回 アドバイザー登録数 26人</p> <p>(2) 多様化するネットトラブルから青少年や高齢者を守るため、受講者各自がタブレット端末を操作して、ワンクリック詐欺やSNSへの不用意な投稿によるトラブル等を疑似体験しながら手口や対処法を学ぶ体験型講座（アクティブラーニング）を開催した。</p> <p>実施回数 210回</p> <p>(3) 援助交際等のインターネット上の不適切な書込みをサイバーパトロールで発見し、児童と接触して補導する「サイバー補導」を実施することで、児童の被害の未然防止を行った。</p> <p>ア サイバー補導取組状況（令和元年中）</p> <p>交信回数 944回 不適切な書込みの発見 138件 現場接触の実施 10</p> <p>イ サイバー補導実施状況（令和元年中）</p> <p>補導人員 12人</p> <p>3 執行額 11,089,324円</p> <p>1 施策の趣旨等 高度な犯罪分析機能により犯罪分析を行うとともに、AIを活用し、分析精度の向上を図ることで、的確なパトロールコースの選定や府民への効果的な情報発信による犯罪抑止活動を強化するとともに、犯罪の早期検挙を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 府民との協働パトロールをはじめとした犯罪分析エリアでの重点的な犯罪抑止活動の実施や、先制的な検挙活動による住宅侵入窃盗や街頭犯罪の事件検挙等、予防・検挙の両面で成</p>
			犯罪防御システム活用事業 (刑事企画課)	

			<p>果を挙げた。</p> <p>3 執行額 107,383,007円</p> <p>1 施策の趣旨等 被害件数・被害額ともに依然として高水準で推移している特殊詐欺被害の撲滅に向け、犯行抑止対策や金融機関等と連携した被害未然防止対策を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) だまされた振り作戦の成功に資するため、被害者の心理的負担の軽減、被害者と警察の連携の円滑化を図る「だまされた振り作戦支援ツール（通信端末）」を警察本部、各警察署で活用し、同作戦による検挙の強化を図った。 支援ツール運用台数 81台 だまされた振り作戦実施数 68件（令和元年中） だまされた振り作戦による検挙数 4 (2) 犯人グループが使用する電話に集中的に電話を架け続け、その使用を事実上不能とする「集中架電システム」を運用し、犯行ツール対策の強化を図った。 対象犯行使用電話回線 364回線（令和元年中） 集中架電回数 8,226,658回 (3) 「特殊詐欺を発生させない」社会気運の醸成に努め、金融機関等に啓発用物品を設置した。 ア 高額出金時の対応要請プレート 設置店舗数及び箇所 1,042店舗、6,000枚 高額出金時における警察への通報件数 331件（令和元年7月以降） イ 特殊詐欺対策のぼり旗の作成 作成枚数 100枚 防犯イベントの開催回数 48回（令和2年1月以降）</p> <p>3 執行額 6,922,093円</p> <p>1 施策の趣旨等 滋賀県大津市で保育園児等が巻き込まれる交通事故が発生したことを受け、府内の園児等を交通事故から守るため、緊急対策を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 啓発用ハンドプレートを各警察署等に配付し、交通ボランティア等と連携した街頭啓発活動を行ったほか、巻き看板を保育所等の周辺に取り付け、園外活動路等を走行するドライバーに対する注意喚起を実施した。 (1) 啓発用プレートの整備 475個</p>
		<p>特殊詐欺被害撲滅総合対策事業 （捜査第二課）</p>	
		<p>園児等交通安全緊急対策事業 （交通企画課） （交通規制課）</p>	

				<p>(3) SNS情報検索システムの整備 SNSに投稿された災害情報等を基に迅速な現場対応を行うため、災害関連SNS情報検索システムを導入した。</p> <p>3 執 行 額 28,349,970円</p>
--	--	--	--	--

